

教科(科目)	音楽	総時数	35時間	学年(コース)	3学年
使用教科書	教育芸術社『中学生の音楽2・3下』、教育芸術社『中学生の器楽』				
副教材等	新学社『音楽の基本ワーク2・3年下』				

## 1 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動をとおして、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 2 指導の重点

- ① 仲間と一つの音楽を作り上げる活動をとおして、協調性を育てます。
- ② 様々な作品に触れることで音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てます。
- ③ 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てます。
- ④ 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てます。

## 3 学習計画

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
4	発声基礎	校歌	歌唱を行う上で大切な発声の基礎を学ぶ。	1	
	楽典	音楽の約束	音の読み書きを体験しながら学ぶ	2	小テスト
5	歌唱(1)	『花』	情景を思い浮かべながら、言葉を大切にしながら歌う。	3	実技テスト
6	鑑賞(1)	モルダウ 連作交響詩「我が祖国」から	作曲の経緯や視覚で感じる絵と聴覚で感じる音楽のつながりを感じ取る。	2	感想レポート
	歌唱(2)	『花の街』	詩や曲の背景を理解し、そこにこめられた思いを生かして歌う。	2	実技テスト
7	器楽(1)	『きらきら星』『威风堂々』	高音域やシャープ・フラットが付く楽曲を演奏する。	2	実技テスト
	実践	指揮をしてみよう	音楽を指揮で表現してみる体験を養う。	1	実施
9・10	歌唱(3)	『課題曲』、他1曲	音楽発表会に向けて、混声3部または4部合唱に取り組む。	8	発表 実技テスト 感想レポート

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
11	創作	『My Melody』 『Let's Create』	音楽の三要素である、「リズム」「メロディー」 「ハーモニー」	2	発表
	鑑賞(2)	ポピュラー音楽	様々なジャンルのポピュラー音楽に親しむ。	1	感想レポート
12	器楽(2)	『木かげの思い出』『ふるさと』	高音域やシャープ・フラットの運指をマスターし、共演者の音を聴きながら演奏する。	3	実技テスト
1	合奏	曲目未定	様々な楽器を使いアンサンブルを体験する。	1	発表
	鑑賞(3)	『ボレロ』	曲全体を通して繰り返し演奏されるリズムと旋律に注目しながら、じっくり鑑賞する。	2	感想レポート
2	歌唱(4)	『花は咲く』	情景を思い浮かべ、表情豊かに歌う。	2	発表
	鑑賞(4)	耳で辿る音楽史	音源やピアノを鑑賞する	1	小テスト
3	歌唱(5)	『君が代』『校歌』	卒業式、入学式に向けて式歌を練習する。	2	

計 35 時間(50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・鑑賞の際に、レポートの作成を課します。
- ・授業内で小テストを実施します。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたうえで、解釈したり価値を考えたりすることが出来る。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたうえで、ふさわしい音楽表現を工夫し思いや意図をもって表現することが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心をもって、主体的・協働的に音楽の課題に取り組もうとしている。</li> </ul>
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取組(授業態度、忘れ物)</li> <li>・授業内での小テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・成果発表</li> <li>・提出物の内容</li> </ul> <p>などから、総合的に評価します。</p>		

#### 6 担当者からの一言

歌や楽器を演奏する楽しさ、難しさを感じるとともに、他人と共に一つの音楽を作り上げる活動をとおして、より他人の気持ちがわかる人になってほしいと思います。

また、数百年前に作曲され、今日でも「名作」とされる作品の魅力を音楽の授業をとおして感じてほしいと思います。

(担当：品田)